2-636-561-**01** (2)

Data Projector

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

VPL-CX20
VPL-CS20

目次

はじめに

画像を映す

便利な使いかた

メニューで行う調整と設定

お手入れ

その他

本機の特長

高輝度・高画質

高輝度

新開発の LCD パネルを搭載したソニー独自の新規光学システムの採用により、高効率な光学システムを実現。165W ランプで、2000 ルーメンの明るい映像を再現できます。

高画質

VPL-CX20：約 79 万画素の 0.63 インチ XGA 高開口パネルを 3 枚採用し、RGB 信号入力時には水平解像度 1024 ドット、垂直解像度 768 ドットを、ビデオ信号入力時には水平解像度 750TV 本を実現しました。
VPL-CS20：約 48 万画素の 0.63 インチ SVGA 高開口パネルを 3 枚採用し、RGB 信号入力時には水平解像度 800 ドット、垂直解像度 600 ドットを、ビデオ信号入力時には水平解像度 600TV 本を実現しました。

小型・軽量

約 1.9 kg と軽量のうえ、薄型のデザインにより持ち運びに便利です。

容易なセットアップ・操作

オートフォーカス付きアドバンスト インテリジェント オートセットアップ機能

電源ボタンを押すと、プロジェクターを使用する前に必要な設定が完了。本体の傾きに応じて V キーストーン（垂直台形歪み）補正を行い、フォーカスを合わせ、信号を判別して、投影に最適な状態に調整します。

電動ズーム / フォーカス

電動ズーム / フォーカス付レンズを搭載。離れた所からもリモートコマンダーで調整が可能です。

短焦点レンズ搭載

80 インチサイズで投影時、投射距離が約 2.3m と短く、限られたスペースでも大画面投射が行えます。

オフ & ゴー

電源を切った後、電源コードを抜いても、冷却ファンが自動的に駆動しますので、使用直後でも本機を別の場所へ運ぶことができます。

セキュリティ対応

セキュリティロック

電源オン時にパスワードの入力を要求し、入力がない場合は映像が投影されないようにすることが可能です。

パネルキーロック

本機の操作キーを全て無効にし、操作はリモートコマンダーのみに制限することが可能。いたずらや誤操作を防ぎます。

商標について

・Adobe Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
・Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・VGA、SVGA、XGA、SXGA は米国

International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Kensington は Kensington 社の登録商標です。
- Macintosh は Apple Computer 社の登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standard Association の登録商標です。
- Display Data Channel は Video Electronics Standard Association の商標です。

各部の名前と働き

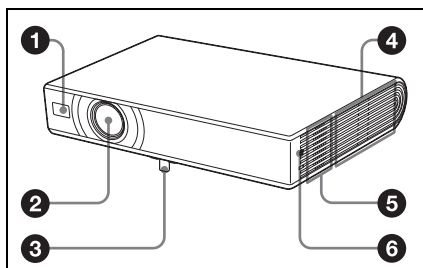
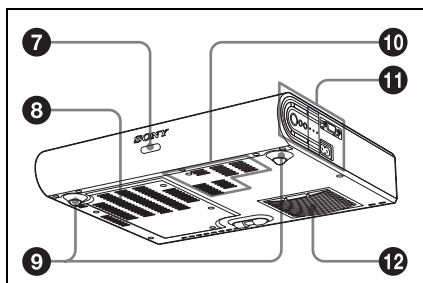
天面／前面／左側面

後面／右側面／底面

❶ **前面リモコン受光部**

❷ **レンズ**

❸ **電動チルトアジャスター**

❹ **排気口**

❺ **スピーカー**

❻ **盗難防止用ロック**

市販の盗難防止用ケーブル（Kensington 社製）などを取り付けることができます。
Kensington Web ページアドレス：
http://www.kensington.com/

❼ **後部リモコン受光部**

❽ 吸気口／ランプカバー

❾ アジャスター（後ろ足）

アジャスターを左右に回して、投影された画像の傾きを微調整します。

❿ 吸気口

⓫ コントロール／コネクターパネル

◆詳しくは、「コントロール／コネクターパネル」（5 ページ）をご覧ください。

⓬ 吸気口／エアーフィルターカバー

排気口／吸気口について

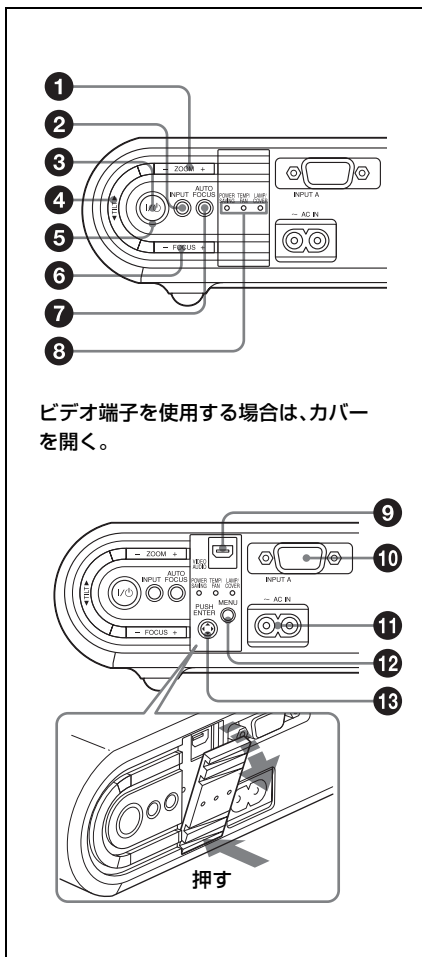
⚠警告

- 排気･吸気口をふさがないでください。**排気･吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因**となることがあります。
- 排気口に手を触れたり、近くに物を置かないでください。**排気口は高温になるので、やけどや火災の原因**となることがあります。

ご注意

本機の性能を保持するために、**約 500 時間ごとに必ずエアーフィルターのクリーニングを行ってください。**

◆詳しくは、「エアーフィルターをクリーニングする」（38 ページ）をご覧ください。

コントロール／コネクターパネル

❶ ZOOM（ズーム）+ / −キー

画像の大きさ（ズーム）を調整します。

❷ INPUT（入力選択）キー

❸ I/⏻（オン／スタンバイ）キー

本体がスタンバイ状態のときに押すと、本体の電源が入り、操作可能になるまでの間、I/⏻ キー周囲の

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅します。

❹ TILT（チルト）（傾き）調整キー

本機の傾きを調整するときに使います。詳しくは、「スクリーンに画像を映す」（14 ページ）をご覧ください。

❺ ON/STANDBY（オン／スタンバイ）インジケーター（I/⏻ キー周囲のインジケーター）

以下の状態のとき、点灯または点滅します。

赤色に点灯：電源コードをコンセントに差し込んだとき。この状態をスタンバイと呼び、I/⏻ キーで電源を入れることができます。

緑色に点灯：電源が入っているとき。

緑色に点滅：本体の電源が入り、操作可能になるまでの間、I/⏻ キーで電源を切った後の約 45 秒間。

◆I/⏻ インジケーターについて詳しくは、16 ページをご覧ください。

❻ FOCUS（フォーカス）＋ / －キー

画像のフォーカスを手動で調整します。

❼ AUTO FOCUS（オートフォーカス）キー

画像のフォーカスを自動調整します。

❽ インジケーター

- **POWER SAVING（節電モード）：**
  節電モード時に点灯します
- **TEMP（温度）/FAN（ファン）：**
  以下の状態のとき、点灯または点滅します。
  点灯：本機内部の温度が上がったとき。
  点滅：ファンが故障したとき。
- **LAMP（ランプ）/COVER（カバー）：**
  以下の状態のとき、点灯または点滅します。
  点灯：ランプの交換時期がきたとき、またはランプの温度が高いとき。
  点滅：ランプカバーがはずれているとき、またはエアーフィルターが正しく装着されていないとき。

◆詳しくは、42 ページをご覧ください。

❾ AUDIO/VIDEO（映像 / 音声）端子

ビデオデッキなどの映像出力端子および音声出力端子と接続します。

❿ INPUT A（入力 A）端子（HD D-sub 15 ピン、凹）

接続する機器に応じて、コンピューター信号、ビデオ GBR 信号、コンポーネント信号、DTV 信号を入力することができます。
接続する機器の出力端子に付属のケーブルまたは別売りのケーブルで接続します。

◆詳しくは、「コンピューターを接続する」（11 ページ）、「ビデオ機器を接続する」（12 ページ）をご覧ください。

⓫ AC IN（電源コンセント）

付属の電源コードを接続します。

⓬ MENU（メニュー）キー

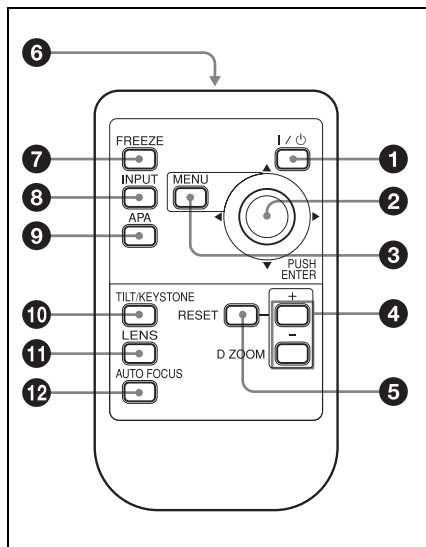
メニューを画面に表示したいときに押します。もう 1 度押すとメニューは消えます。

⓭ ENTER（確定）／▲/▼/◀/▶（矢印）キー

メニューの設定項目を確定するときに押します。

メニューに表示されるカーソルを動かすとき、メニュー項目の数値を変えるときに使います。ENTER 機能を使うときは、キーのまん中を押します。

リモートコマンダー

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。

❶ I/⏻（オン / スタンバイ）キー

❷ ENTER（確定）／▲/▼/◀/▶（矢印）キー

❸ MENU（メニュー）キー

❹ D ZOOM（デジタルズーム）+ / −キー

画面上の希望の位置を拡大することができます。（デジタルズーム機能）

❺ RESET（リセット）キー

メニューをリセットしたり、調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すとき、ズームした画像を一度で元の大きさに戻すときに使います。

メニュー画面、または項目を調整中（画面に表示中）に働きます。

❻ リモートコマンダー発光部

❼ FREEZE （フリーズ）キー

投影している画面を静止させます。解除するには、もう 1 度押します。

❽ INPUT （入力選択）キー

❾ APA（Auto Pixel Alignment）キー

コンピューターから信号を入力している際に、自動的にくっきり見える位置を得るために押します。

◆詳しくは、機能設定メニューの「スマート APA」（27 ページ）をご覧ください。

❿ TILT（傾き）/KEYSTONE （台形補正）キー

本機の傾き調整と台形歪み補正を手動で調整するときに使います。押す

たびに、傾き調整メニューと台形補正メニューが交互に表示されます。▲/▼/◀/▶ キーを使って調整します。

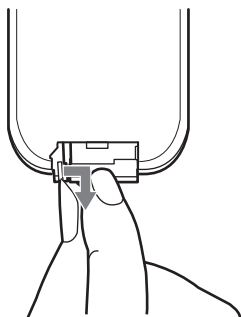
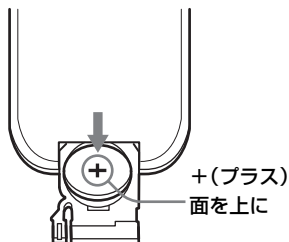
⓫ LENS（レンズ）キー
押すたびに、FOCUS（フォーカス）調整メニューと ZOOM（ズーム）調整メニューが交互に表示されます。

⓬ AUTO FOCUS（オートフォーカス）キー

リモコンを使用する前に

電池部の透明フィルムを引き抜いてください。

リチウム電池の入れかた

1 リチウム電池入れを引き出す。
つまんでロックをはずしながら手前に引いてください。

2 リチウム電池をはめ込む。

3 リチウム電池入れを差し込む。

リチウム電池についてのご注意

- リモートコマンダーには、ボタン型リチウム電池（CR2025）が使用されています。CR2025 以外の電池を使用しないでください。
- ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、リモートコマンダーおよび電池は幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

電池についての安全上のご注意

⚠警告

本機に付属の「安全のために」に記載されている「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。
リモートコマンダーが正常に働かない場合は、電池を交換してください。

リモートコマンダーのご注意

- リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがありますので、本機の前後にあるリモコン受光部に向けてリモートコマンダーを操作してください。

・リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。

設置する

レンズの中心からスクリーンまでの距離はスクリーンサイズによって変わります。
下の表の最小距離と最大距離の範囲で設置してください。

単位：m

スクリーンサイズ（インチ）		40	80	100	150	200	250	300
距離	最小	1.2	2.3	2.9	4.4	5.9	7.3	8.8
	最大	1.4	2.8	3.6	5.4	7.2	9.0	10.7

（設計値のため多少の誤差があります。）

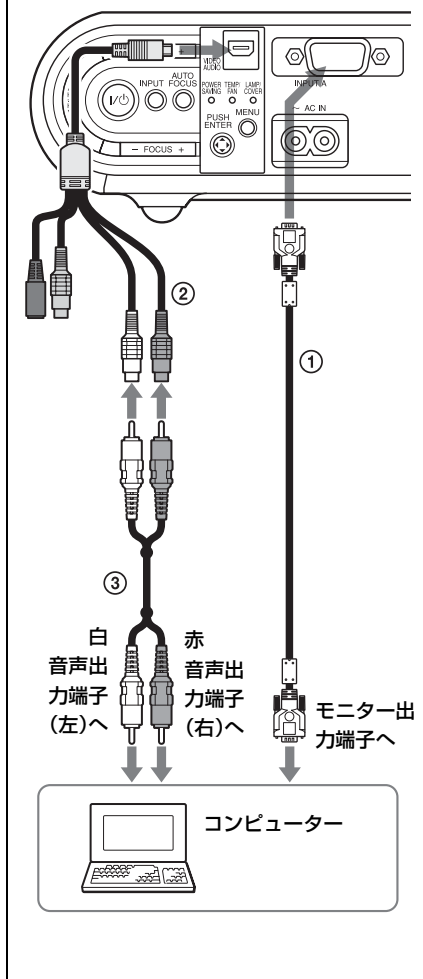
接続する

接続するときは

・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は画像の乱れや雑音の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください

コンピューターを接続する

ここではコンピューターを本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンピューターを接続する場合

① HD D-sub 15 ピンケーブル(付属)
② A/V 接続アダプター(付属)
③ 音声ケーブル(別売り)(プロジェクターのスピーカーから音声を出す場合のみ接続します。)

ご注意

・本機は、VGA、SVGA、XGA、SXGA、SXGA+ 信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターの

出力信号をXGA（VPL-CX20）またはSVGA（VPL-CS20）に設定することをお勧めします。
・ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。

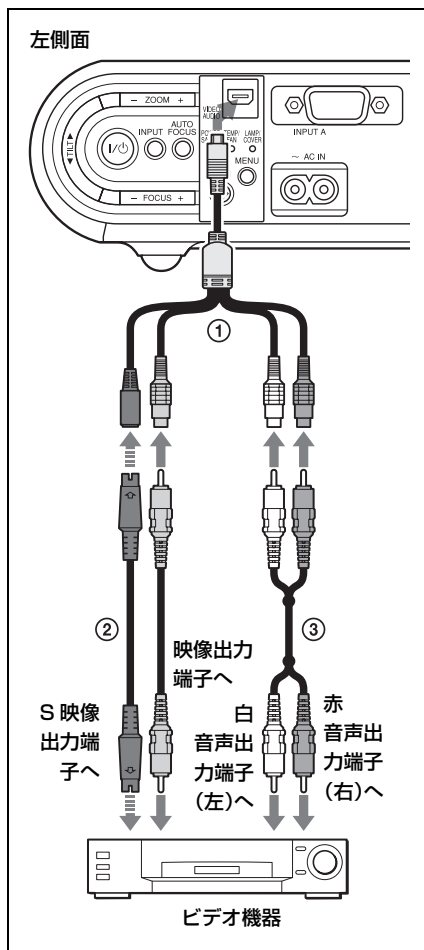
◆詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

Macintoshで出力端子のピン配列が2列タイプのものを接続する場合は、市販のアダプターをご使用ください。

ビデオ機器を接続する

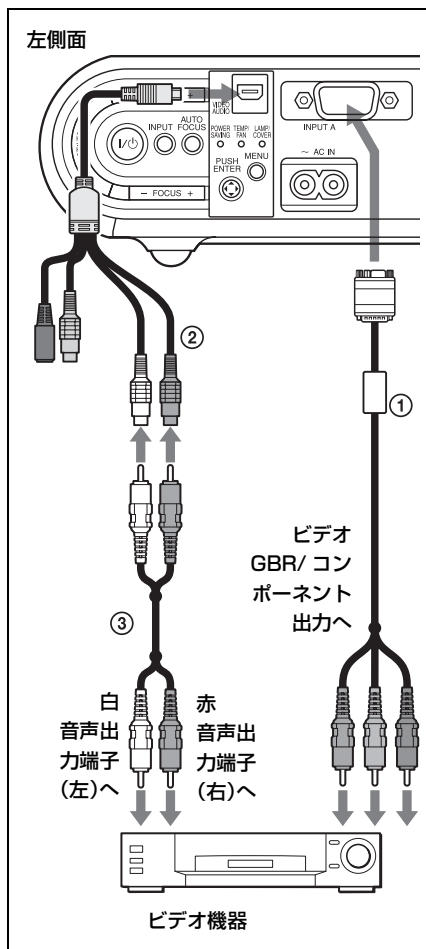
ここではビデオ機器を本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

映像出力、S映像出力端子に接続する場合

① A/V接続アダプター(付属)
② ビデオ接続ケーブル(別売り)またはSビデオ接続ケーブル(別売り)

③ ステレオオーディオ接続ケーブル（別売り）
（抵抗無しのものをお使いください。）

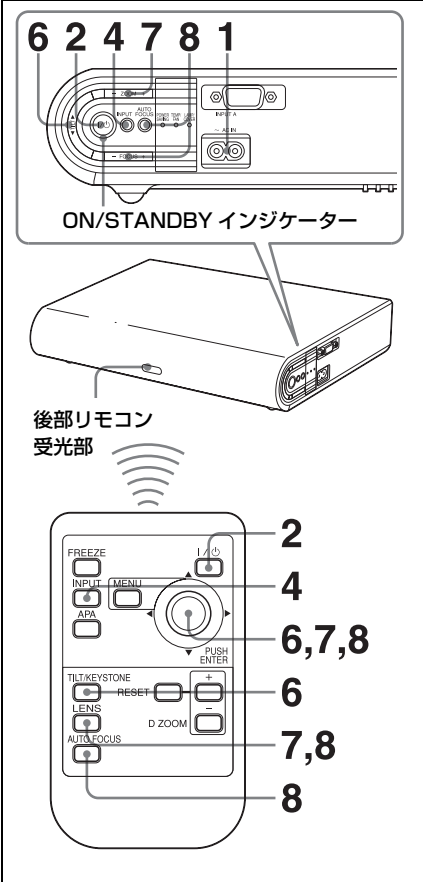
ご注意

S映像出力端子、映像出力端子のいずれかに接続します。

ビデオGBR/コンポーネントの出力端子に接続する場合

① シグナルケーブルSMF-402（別売り）
HD D-sub 15ピン（凸）←→ 3×ピンジャック
② A/V接続アダプター（付属）
③ ステレオオーディオ接続ケーブル（別売り）
（抵抗なしのものをお使いください。）

ご注意

入力する信号に応じて、信号設定メニューの「ワイドモード」を設定してください。

スクリーンに画像を映す

1 **電源コードをコンセントに差し込み、各機器の接続をする。**

ON/STANDBY インジケーターが赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

2 **I/⏻ キーを押して、電源を入れる。**

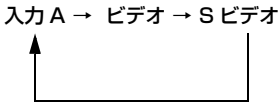
ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅し、アドバンストインテリジェントオートセットアップ機能が働きます。電動チルトアジャスターが立ち上がり、前回の調整時と同じ位置（傾き）で止まり、フォーカスを合わせます。

ご注意

オートフォーカスの有効範囲は、投影画面サイズが 40 ～ 150 インチまでです。また、部屋の明るさやスクリーンの状態などにより、適切に調整できないことがあります。その場合は手順 **8**（16 ページ参照）で手動でフォーカスを合わせてください。

3 **接続した機器の電源を入れる。**

4 **INPUT キーを押して投影する映像を選ぶ。**

キーを押すたびに、映像が以下のように切り換わります。

投影する映像	画面の表示
コンピューターなど（入力 A 端子につないだ機器の映像）	入力 A
ビデオ機器（AUDIO/VIDEO（音声／映像）端子につないだ機器の映像）	ビデオ
ビデオ機器（AUDIO/S-Video（音声／S 映像）端子につないだ機器の映像）	S ビデオ

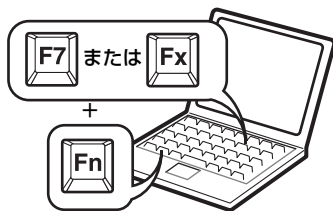
スマート APA（Auto Pixel Alignment）が働き、接続されてい

る機器の画像をくっきりと調整します。

ご注意

・オート入力サーチが「入」に設定されていると、接続されている機器の信号を自動的にサーチし、入力信号のあるチャンネルを表示します。詳しくは、機能設定メニューの「オート入力サーチ」（27 ページ）をご覧ください。
・スマート APA は、コンピューター信号入力時にのみ働きます。

5 接続した機器の映像信号の出力先を切り換える。

ノートタイプやモニター一体型のコンピューターを接続したときには、キー（LCD/VGA、□/□ など）や設定によって映像信号の出力先を切り換える必要のあるものがあります。

ご注意

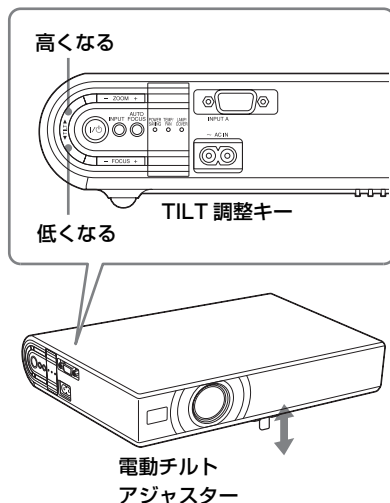
コンピューターの種類によって、切り換えのキーが異なります。

6 画像の上下の位置を調整する。

リモートコマンダーを使って調整する場合

リモートコマンダーの TILT/KEYSTONE キーを押して傾き調整メニューを表示し、▲/▼/◀/▶ キーで調整します。

コントロールパネルで調整する場合

TILT 調整キーの △ または ▽ を押して、プロジェクターの傾きを調整します。

ご注意

・電動チルトアジャスターを TILT 調整キーで調整すると、V キーストーン補正が自動的に働きます。オートキーストーン補正を実行しない場合は、設置設定メニューの V キーストーンを「マニュアル」に設定します。（30 ページ参照）
・V キーストーンをオートに設定すると、V キーストーン補正は自動的に調整されますが、室温やスクリーンの傾きなどにより適正な補正が得られない場合があります。この場合は、マニュアルで調整を行います。画面に「V キーストーン」が表示されるまでリモートコマンダーの TILT/KEYSTONE キーを押して、▲/▼/◀/▶ キーで値を調整してくだ

さい。調整された値は電源を切るまで有効です。
・電動チルトアジャスターを調整するときは、手をはさまないようにしてください。
・電動チルトアジャスターを出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。

7 画像の大きさを調整する。

リモートコマンダーを使って調整する場合
LENS キーを押して、「レンズズーム」を選び、▲/▼/◀/▶ キーで調整する。

本体側面のコントロールパネルで調整する場合
ZOOM +／－キーを押して調整する。

8 画像のフォーカスを調整する。

自動で調整する場合
リモートコマンダーまたは本体側面の AUTO FOCUS キーを押す。

手動で調整する場合

リモートコマンダーを使って調整する場合：
LENS キーを押して「レンズフォーカス」を選び、▲/▼/◀/▶ キーで調整する。

本体側面のコントロールパネルで調整する場合：
FOCUS +／－キーを押して調整する。

電源を切る

1 I/⏻ キーを押す。
「パワーオフしますか？もう一度 I/⏻ キーを押してください。」というメッセージが表示されます。

ご注意
確認のメッセージは I/⏻ キー以外のキーを押すか、5 秒間何もキーを押さないと消えます。

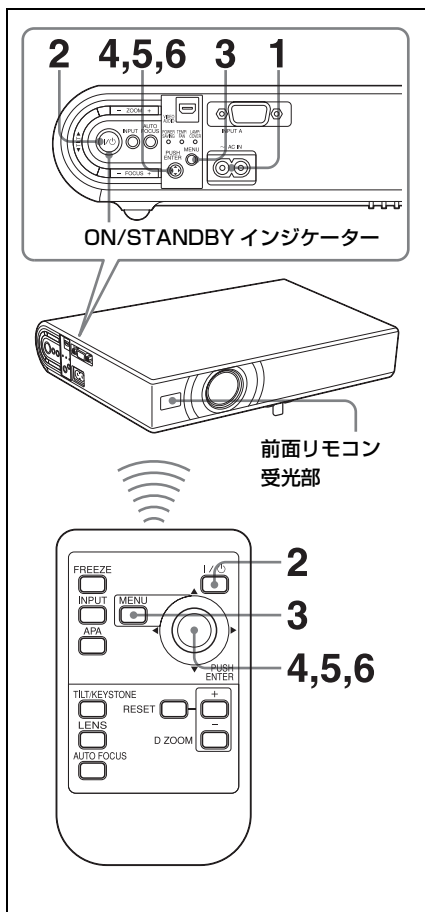
2 I/⏻ キーを再び押す。
電動チルトアジャスターが本体に収納されます。ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが回り続けます。はじめの 45 秒間は速い間隔で点滅します。この間は再び I/⏻ キーを押しても、再度ランプを点灯させることはできません。

3 ファンが止まり、ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。

画面のメッセージを確認できない場合は
状況により画面のメッセージを確認できない場合は、手順 **1**、**2** の操作の代わりに I/⏻ キーを約 2 秒押したままにしても電源を切ることができます。

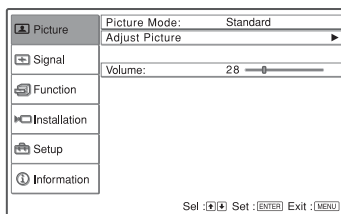
ご注意
オフ & ゴー機能の内蔵回路により、I/⏻ キーで電源を切り ON/STANDBY インジケーターが赤色に変わってからも、しばらくの間ファンが稼動していることがあります。

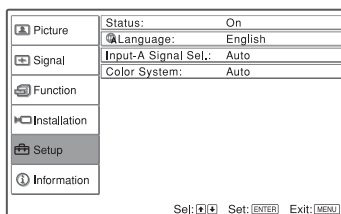
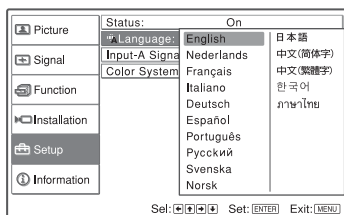
メニュー表示言語を切り換える

メニュー画面やメッセージの表示言語を 15 言語の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「English」（英語）に設定されています。表示言語を変更したいときは、以下の手順で変更します。

1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 I/⏻ キーを押して、電源を入れる。

3 MENU キーを押す。

メニュー選択画面が表示されます。現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。

4 ▲または▼キーを押して Setup（初期設定）メニューを選び、▶または ENTER キーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。

5 ▲または▼キーを押して「Language」（表示言語）を選び、▶または ENTER キーを押す。

6 ▲、▶、◀、▼キーを押して表示させたい言語を選び、ENTER キーを押す。

画面表示が、選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

MENU キーを押す。
約 1 分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

セキュリティロック

本機は、セキュリティロック機能を搭載しています。電源を入れると事前に設定してあるパスワードの入力を要求し、正しいパスワードを入力しないと映像を投影できません。

ご注意

パスワードを忘れてしまったり、パスワード管理者が不在の場合、本機を使用することができなくなります。この機能をご使用の場合はあらかじめ以上のことをご承知のうえお使いください。

セキュリティロックをかけるには

1 MENU キーを押して機能設定メニューの「セキュリティロック」を「入」にする。

2 パスワードを入力する。

MENU、▲/▼/◀/▶、ENTER の 6 つのキーを使用して 4 桁のパスワードを入力してください。
（出荷時には“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されていますので、初回使用時には ENTER を 4 回入力してください。）

次に新しいパスワードの入力画面が表示されます。
（現在のパスワードと同じで良い場合でも、ここで入力してください。）

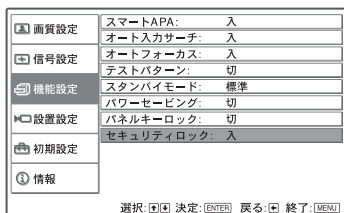
パスワードを入力画面に入れる。

3 確認の為もう一度パスワードを入力する。

以下のメッセージが表示されたら完了です。

画質設定 / 信号設定 / 機能設定 / 設置設定 / 初期設定 / 情報

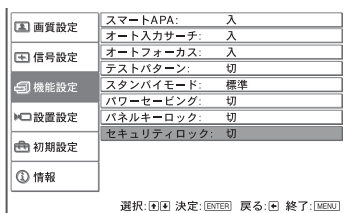
スマートAPA: 入
オートフォーカサーチ: 入
オートフォーカス: 入
テストパターン: 切
スタンバイモード: 標準
パワーセービング: 切
パネルキーロック: 切
セキュリティロック: 入

選択: 決定: ENTER 戻る: 終了: MENU

セキュリティロックが有効になりました。

「パスワードが違います！」というメッセージがメニュー画面に表示された場合は、手順**1**からやり直してください。

画質設定 / 信号設定 / 機能設定 / 設置設定 / 初期設定 / 情報

スマートAPA: 入
オート入力サーチ: 入
オートフォーカス: 入
テストパターン: 切
スタンバイモード: 標準
パワーセービング: 切
パネルキーロック: 切
セキュリティロック: 切

選択: 決定: ENTER 戻る: 終了: MENU

パスワードが違います！

4 設定完了後に本機の電源を切り、電源コードを抜き設定を有効にする。

セキュリティロックが有効となり、次に電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。

セキュリティ認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定されているパスワードを入力してください。パスワードの入力に3回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合、I/⏻ キーを押し、電源を切ってください。

セキュリティロックを解除するには

1 MENU キーを押して機能設定メニューの「セキュリティロック」を「切」にする。

2 パスワードを入力する。

設定してあるパスワードを入力してください。

ご注意

パスワードを忘れてしまったためテクニカルインフォメーションセンターへお問い合わせをするときは、シリアル番号とお客様の確認が必要になります（国／地域によって異なります）。お客様の確認ができるとパスワードをご案内致します。

その他の機能

オフ＆ゴー機能について

会議室などをすぐに移動するような場合には、電源を切り、アジャスターが本体に収納された後に電源コードを抜くことができます。電源コードを抜いても内蔵回路により、ファンが一定時間自動的に稼動します。

ご注意

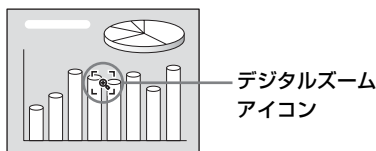
- 電動チルトアジャスターが本体に収納されたことを確認してから電源コードを抜いてください。
  アジャスターが本体に収納されていない状態で動かすとアジャスターが壊れる恐れがあります。
- キャリングケースなどに収納する際は、「電源を切る」（16 ページ）の手順に従って電源を切り、本機が充分に冷えた状態で収納してください。
- ただし本機の通電時間が約 15 分間よりも短い場合、充電不足のためにファンが回らないこともあります。その場合は「電源を切る」（16 ページ）の手順に従って電源を切ってください。

プレゼンテーション機能

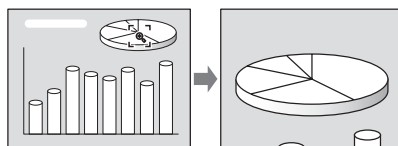
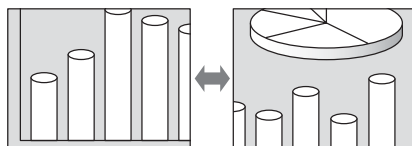
画面を拡大する（デジタルズーム機能）

画面上の希望の位置を拡大できます。
この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。
ビデオ信号を入力しているときは働きません。

1 通常の画面を映し、リモートコマンダーの D ZOOM ＋キーを押す。

画面中央にデジタルズームのアイコンが表示されます。

2 ▲/▼/◀/▶ キーを使って、拡大したい位置にアイコンを移動する。

3 もう一度 D ZOOM ＋キーを押す。

アイコンのある位置を中心に画像が拡大され、拡大率が数秒間画面に表示されます。＋キーを押すごとに拡大率が上がります（最大 4 倍）。

また、この状態で ▲/▼/◀/▶ キーを押すと、拡大されたまま画像の位置が移動します。

拡大した画像を元の大きさに戻すには

D ZOOM －キーを押します。一度で元の大きさに戻すには、リモートコマンダーの RESET キーを押します。

投影している画面を静止させる（フリーズ機能）

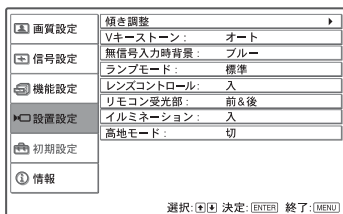
リモートコマンダーのFREEZEキーを押すと、投影している画面を静止させて表示することができます。キーが押されると、画面に「フリーズ」と表示されます。この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。
元の画面に戻すには、FREEZEキーをもう一度押します。

メニューの操作方法

本機では、入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。選んだ調整／設定項目によって、ポップアップメニューで表示されるもの、メニュー画面を消して設定メニューや調整メニューで表示されるもの、次の階層に表示されるものがあります。項目名の後ろに矢印（▶）が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定できる項目が表示されます。表示言語を切り換えるには、「メニュー表示言語を切り換える」（17ページ）をご覧ください。

1 **MENU キーを押す。**

メニュー画面が表示されます。

画質設定
信号設定
機能設定
設置設定
初期設定
情報
傾き調整 ▸
Vキーストーン： オート
無信号入力時背景： ブルー
ランプモード： 標準
レンズコントロール： 入
リモコン受光部： 前＆後
イルミネーション： 入
高地モード： 切
選択：⬆⬇ 決定：ENTER 終了：MENU

2 **▲または▼キーを押してメニュー項目を選び、▶または ENTER キーを押す。**

調整／設定できる項目が表示され、現在選ばれている項目が黄色で表示されます。

3 **▲または▼キーを押して設定したい項目を選び、▶または ENTER キーを押す。**

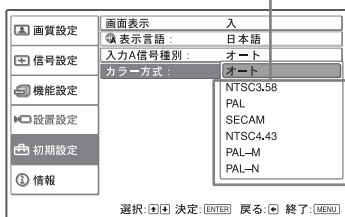
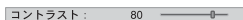
設定できる項目が、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニュー、または次の階層に表示されます。

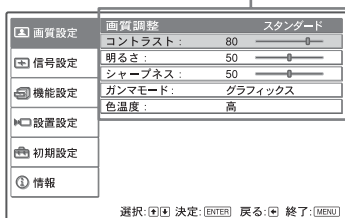
ポップアップメニュー

設定できる項目

設定メニュー

調整メニュー

コントラスト： 80

次の階層に表示される画面

設定できる項目

4 **調整や設定をする。**

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、▲または▶キーを押す。
数値を小さくするときは、▼または◀キーを押す。

ENTERキーを押すと設定が確定し元の画面に戻ります。

設定を選ぶ項目の場合：

▲または▼キーを押して設定を選ぶ。◀またはENTERキーを押すと元の画面に戻ります。

メニュー画面を消す

MENUキーを押す。
約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

設定値をリセットする

リセットしたい設定値を選択して、リモートコマンダーのRESETキーを押す。
「終了しました！」というメッセージが表示され、画面に表示中の**設定値が工場出荷時の値に戻ります。**
リセットできる項目は以下のとおりです。

・画質設定メニューにある「画質調整 ...」の「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」と「シャープネス」
・信号設定メニューにある「入力信号調整 ...」の「ドットフェーズ」、「水平サイズ」と「シフト」

設定値の記憶について

設定値はENTERキーを押すと本体に記憶されます。

入力信号がない場合

入力信号がない場合は、「この項目は調整できません。」というメッセージが表示されます。

調整できない項目について

入力信号によって調整できない項目はメニューに表示されません。

◆詳しくは、35ページをご覧ください。

画質設定メニュー

画質や音量を調整するメニューです。

設定項目	機能	初期設定値
画質モード	画質モードを選びます。 ・**ダイナミック：**明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。 ・**スタンダード：**通常はスタンダードに設定されています。また、「ダイナミック」で画質にザラツキ感があるとき、ざらつきを抑えた画質になります。	スタンダード
画質調整 ...	下記の項目は、「画質モード」（「ダイナミック」、「スタンダード」）ごとに設定値が記憶されます。	
コントラスト	コントラストを調整します。	80
明るさ	明るさを調整します。	50
色の濃さ	色の濃さを調整します	50
色あい	色あいを調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。	50
シャープネス	シャープネスを調整します。設定値が大きくなると映像がくっきりし、小さくなると映像が柔らかくなります。	50
ガンマモード	ガンマ補正曲線を選びます。 ・**グラフィックス：**中間調の再現性が高くなります。写真を自然な階調で再現します。 ・**テキスト：**白と黒の対比をはっきりさせます。文字の多い画像に適しています。	グラフィックス
色温度	画像に合わせて好みの色温度を選びます。 ・**高：**画像の白い部分を青みがかった白にします。 ・**低：**画像の白い部分を赤みがかった白にします。	高 低（Video/S-Video のみ）
音量	音量を調節します。	30

信号設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。

入力信号調整画面

設定項目	機能	初期設定値
入力信号調整 ...		
ドットフェーズ	LCD パネルとコンピューターから出力される信号の位相を調整します。APA キーを押して調整した後、さらに画像をくっきりさせたい場合に調整します。	
水平サイズ	コンピューターから出力される信号の画像の水平方向の大きさを調整します。 設定値が大きくなると画面の水平方向の大きさが大きくなり、小さくなると画面の水平方向の大きさが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値に合わせてください。 詳しくは、48 ページをご覧ください。	入力信号による
シフト	画像の位置を調整します。 H で水平方向の位置を、V で垂直方向の位置を調整します。 H の設定値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。 V の設定値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。 ◀または▶キーで水平方向の位置を、▲または▼キーで垂直方向の位置を設定します。	入力信号による
ワイドモード	画面のアスペクト（縦横比）を選びます。 ・**切**：4：3 の映像を入力しているときに選びます。 ・**入**：DVD プレーヤーなどから 16：9（スクイーズ）の映像を入力するときに選びます。	切

設定項目	機能	初期設定値
スキャンコンバーター	「切」に設定した場合、入力画素数をLCDの1ピクセルに合わせて表示します。画像が鮮明になります。この場合、画面に表示される画像は小さくなります。	入

ご注意

営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、ワイドモード切り換え機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

プリセットメモリーナンバーについて

本機は、あらかじめ40種類 の映像データをプリセットしています（プリセットメモリー）。プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面に調整します。入力信号のメモリーナンバーと信号種類は情報メニュー画面（34ページ）に表示されます。
プリセットされたデータを信号設定メニューで調整することもできます。
また、プリセットメモリーとは別に、20個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号に対する設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力された場合は、メモリーナンバー0と表示され、信号設定メニューで設定を変更した場合、本機に登録されます。登録数が20個を越えると、古いデータから順番に上書きされます。

◆詳しくは、「プリセット信号一覧」（48ページ）をご覧ください。

下記の信号に対しては、プリセットメモリーからデータが呼び出された後、下の表に従って、「水平サイズ 」を変更してください。
「水平サイズ」を調整したあと、「シフト」で微調整してください。

信号	メモリーナンバー	サイズ
Super Mac-2	37	1312
SGI-1	37	1320
Macintosh 19"	39	1328
Macintosh 21"	41	1456
Sony News	47	1708
PC9821　1280 × 1024	47	1600
WS Sunmicro	48	1664

ご注意

アスペクト（縦横比）が4：3以外の場合、画面の一部が黒で表示されます。

機能設定メニュー

機能設定を変更するメニューです。

画質設定
信号設定
機能設定
設置設定
初期設定
情報

スマートAPA: 入
オート入力サーチ: 切
オートフォーカス: 入
テストパターン: 切
スタンバイモード: 標準
パワーセービング: 切
パネルキーロック: 切
セキュリティロック: 切

選択:⇧⇩ 決定:ENTER 終了:MENU

設定項目	機能	初期設定値
スマート APA	APA （Auto Pixel Alignment）とは、コンピュータ信号入力時に、画像をくっきり見えるように自動調整する機能です。信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の 3 つの項目を自動で調整します。 ・**入：**コンピューター信号が入力されると自動的に APA の機能が働き画像がくっきり見えるように自動調整が始まります。ただし、一度自動調整された信号は、ケーブルを抜き差ししたり、入力切換をした場合でも自動調整されません。「入」に設定されているときでも、リモートコマンダーの APA キーを押して調整することができます。 ・**切：**リモートコマンダーの APA キーを押したときのみ調整が始まります。	入
オート入力サーチ	「入」に設定した場合、INPUT キーが押されたときに、入力 A/ ビデオ /S ビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のあるチャンネルを表示します。	切
オートフォーカス	「切」に設定した場合、電源投入時、またはオートフォーカス操作時にフォーカスが自動調整されません。	入
テストパターン	「入」に設定すると、レンズズーム、レンズフォーカス、V キーストーン調整時にテストパターンが表示されます。	切
スタンバイモード	「低」に設定すると、スタンバイモード時の消費電力を少なくすることができます。	標準

設定項目	機能	初期設定値
パワーセービング（節電モード）	「入」に設定した場合、本体に信号が入力されない状態が10分以上続くと節電モードになり、ランプが消え、ファンが回り続けます。節電モードは、信号が入力されたり、キー操作をすると解除されます。ただし、節電モードに入りランプが消えた直後から45秒間はすべてのキーを受け付けません。	切
パネルキーロック	側面のコントロールパネルキーをすべてロックし、リモートコマンダーのみで操作するように制御できます。 コントロールパネルキーをロックしたいときは、「入」に設定します。 「入」に設定時、本体がスタンバイ状態でコントロールパネルの I/⏻ キーを約10秒押すと電源が入り、電源が入った状態で押すと、スタンバイ状態になります。 電源が入った状態でMENUキーを約10秒押すとロックが解除され、設定が「切」になります。	切
セキュリティロック	本機にセキュリティロックを設定します。「入」にし、パスワードを設定するとロックがかかります。 ◆詳しくは、「セキュリティロック」（18ページ）をご覧ください。	切

ご注意

- APA キーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。投影している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると、正しく APA 機能が働かず、画像の一部が表示されないことがあります。
- 調整中にもう1度 APA キーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
- 信号によっては、正しく調整されないことがあります。
- 画質を手動で調整するときは、信号設定メニューの「ドットフェーズ」、「水平サイズ」、「シフト」の調整をしてください。

設置設定メニュー

設置設定を変更するメニューです。

設定項目	機能	初期設定値
傾き調整	投影画面の位置（高さ）を調整します。	
V キーストーン	投影角度によって画像が台形になってしまった場合にこれを補正します。自動で調整する場合は「オート」に設定し、手動で調整する場合は「マニュアル ...」に設定します。 リモートコマンダーの ◀/▶/▲/▼ キーで調整します。 **画面の上辺より下辺が長い場合** マイナス方向に数値を設定します。 **画面の下辺より上辺が長い場合** プラス方向に数値を設定します。	オート
無信号入力時背景	本機に信号が入力されていない場合の画面の色を「ブラック」、「ブルー」の中から選択します。通常は「ブルー」に設定してください。	ブルー
ランプモード	投影時のランプの明るさを設定します。 ・**高：**画面が明るくなります。 ・**標準：**投影時のファン音が静かになり、消費電力を軽減します。画面は「高」に設定した場合よりも暗くなります。	標準
レンズコントロール	「切」に設定した場合、リモートコマンダーの LENS（FOCUS、ZOOM）キー、本体の FOCUS、ZOOM キーが働かなくなります。	入

設定項目	機能	初期設定値
リモコン受光部	本体前面と後面のリモコン受光部（IR 受光部）の設定をします。 ・**前＆後：**前面と後面のリモコン受光部を両方働かせる場合。 ・**前：**前面のリモコン受光部だけを働かせる場合。 ・**後：**後面のリモコン受光部だけを働かせる場合。	前 & 後
イルミネーション	本体後面の SONY ロゴが通電時光っていますが、これを入／切します。	入
高地モード	海抜 1500m 以上の高地でのご使用の場合は「入」に設定します。	切

ご注意

V キーストーン補正の自動調整は、室温やスクリーンの傾きなどにより適正な補正が得られない場合があります。

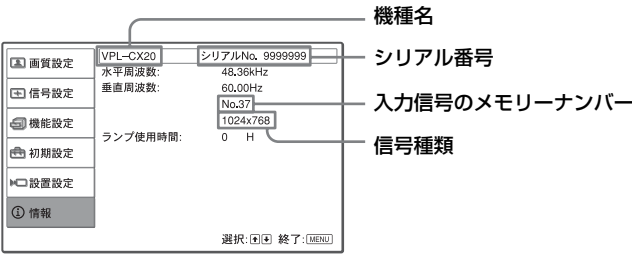
初期設定メニュー

初期設定を変更するメニューです。

設定項目	機能	初期設定値
画面表示	画面表示の設定をします。「切」に設定した場合、メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出ないようにします。	入
表示言語	メニュー画面表示の言語を変更します。「English」（英語)、「Nederlands」（オランダ語)、「Français」（フランス語)、「Italiano」（イタリア語)、「Deutsch」（ドイツ語)、「Español」（スペイン語)、「Português」（ポルトガル語)、「Русский」（ロシア語)、「Svenska」（スウェーデン語)、「Norsk」（ノルウェー語)、「日本語」、「中文(简体字)」（中文簡体字)、「中文(繁體字)」（中文繁体字)、「한국어」（韓国語)、「ภาษาไทย」（タイ語）から選ぶことができます。	English（英語）
入力 A 信号種別	INPUT A 端子に入力される信号を「オート」、「コンピューター」信号、「コンポーネント」信号と「ビデオ GBR」信号から選びます。「オート」では、入力されている信号の種類を自動判別します。「オート」に設定して、入力されている信号が正しく表示されない場合は、入力信号に合わせて設定してください。	オート

設定項目	機能	初期設定値
カラー方式	カラー方式を選びます。 「オート」にすると、自動的にカラー方式を判断します。信号の状態が悪く、画像が乱れたり、色がつかない場合は、入力信号のカラー方式を選択してください。 PAL60の場合は「PAL」を選択してください。オートでは判別できません。	オート

情報メニュー

プロジェクターの機種名、シリアル番号、投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。

設定項目	機能
水平周波数	水平周波数を表示します。 周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。
垂直周波数	垂直周波数を表示します。 周波数表示は絶対値ではなく目安となる値です。
ランプ使用時間	ランプの使用時間を累積して表示します。

ご注意

これらの項目は、表示のみです。変更はできません。

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。詳しくは、下の表をご覧ください。
調整･設定できない項目はメニューに表示されません。

画質調整メニュー

項目	入力信号				
	ビデオまたはSビデオ	コンポーネント	ビデオGBR	コンピューター	白黒信号
コントラスト	○	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○	○
色の濃さ	○	○	○	×	×
色あい	○（NTSC 3.58/4.43のみ）	○	○	×	×
シャープネス	○	○	○	×	○
ガンマモード	×	×	○*1	○	×
色温度	○	○	○	○	○
音量	○	○	○	○	○

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目
*1：プリセットメモリーナンバー3、4のみ

信号設定メニュー

項目	入力信号				
	ビデオまたはSビデオ	コンポーネント	ビデオGBR	コンピューター	白黒信号
ドットフェーズ	×	×	×	○	×
水平サイズ	×	×	×	○	×
シフト	×	○*1	○*1	○	×
スキャンコンバーター	×	×	×	○*2	×
ワイドモード	○	○*3	○*3	×	○

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目
*1：プリセットメモリーナンバー3、4を除く
*2：VPL-CX20はSVGA以下、VPL-CS20はVGA以下
*3：プリセットメモリーナンバー7、8、10、11を除く

ランプを交換する

光源として使用されているランプは消耗品ですので、次のような場合は新しいランプと交換してください。
・光源のランプが切れたとき
・光源のランプが暗くなったとき
・「ランプを交換してください。」というメッセージが表示されたとき
・LAMP/COVER インジケーターが点灯したとき
ランプ交換時期はその使用条件によって変わってきます。
交換ランプは、別売りのプロジェクターランプ LMP-C162 をお使いください。
それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。

⚠警告

I/⏻ キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、**さわるとやけどの原因**となることがあります。ランプを充分に冷やすため、**ランプ交換は、本機の電源を切ってから 1 時間以上**たってから行ってください。

⚠注意

・ランプが破損している場合は、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
・ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のハンドルを持って引き出してください。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
・ランプを取り出すときは、ランプを水平に持ち上げ、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損した場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

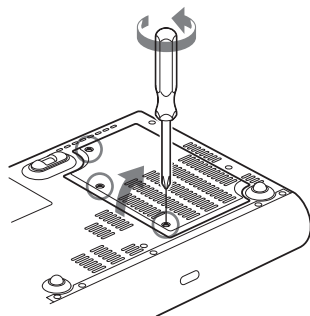
ご注意

本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

2 本機や机に傷がつかないよう布などを敷き、その上で本機を裏返す。

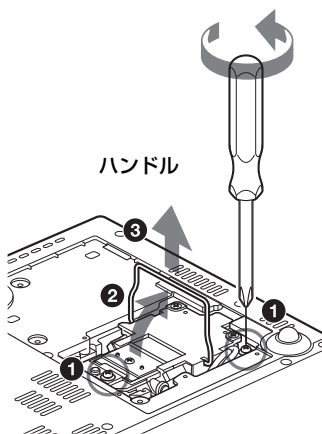
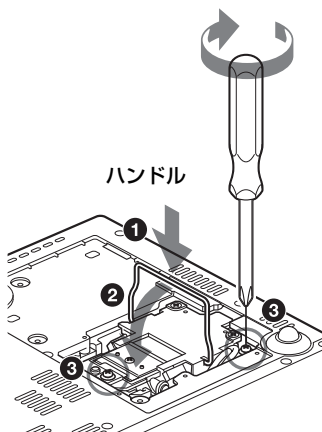
ご注意

プロジェクターを、しっかりと安定させてください。

3 ランプカバーのネジ（3 本）をプラスドライバーでゆるめ、ランプカバーを開く。

ご注意

安全のため、他のネジは絶対にはずさないでください。

4 ランプのネジ（2本）をプラスドライバーでゆるめ（❶）、取り出し用ハンドルを起こし（❷）ハンドルを持ってランプを引き出す（❸）。

本体底面

5 新しいランプを確実に奥まで押し込み（❶）、ネジ（2本）を締め（❸）、取り出し用ハンドルを倒して元に戻す（❷）。

ご注意

- ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
- ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 ランプカバーを閉め、ネジ（3本）を締める。

ご注意

ランプカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

7 本機の向きを元にもどす。

8 電源コードを接続する。

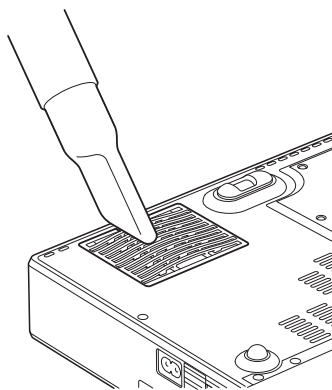
I/⏻ キー周囲の ON/STANDBY インジケーターが赤色に点灯します。

9 リモートコマンダーのキーをRESET キー、◀ キー、▶ キー、ENTER キーの順に、それぞれ 5 秒以内に押す。

⚠警告

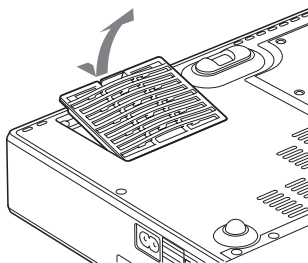
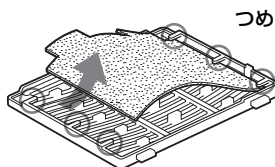
ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。**火災や感電の原因**となります。また、**やけどの危険**がありますので手を入れないでください。

エアーフィルターをクリーニングする

約 500 時間ごとにエアーフィルターのクリーニングが必要です。吸気口の外側から掃除機で掃除してください。
500 時間は目安です。使用環境や使い方によって異なります。

掃除機で掃除しても汚れが取れにくいときは、フィルターをはずして洗ってください。

1 電源を切り、電源コードを抜く。

2 本機や机に傷がつかないように布などを敷き、その上で本機を裏返す。

3 エアーフィルターカバーをはずす。

4 エアーフィルターをはずす。

5 中性洗剤を薄めた液で洗ったあと日陰で乾かす。

6 エアーフィルターをエアーフィルターカバーのつめ (6ヶ所) にはめて、エアーフィルターカバーを本機に取り付ける。

ご注意

- **エアーフィルターのクリーニングを怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。**
- フィルターを洗っても汚れが落ちないときは、付属の交換用エアーフィルターと交換してください。
- エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう１度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、お買い上げ店にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・I/⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 ➔約 45 秒たってから電源を入れてください。（16 ページ） ・ランプカバーがはずれている。 ➔ランプカバーをしっかりとはめてください。（36 ページ） ・エアーフィルターカバーがはずれている。 ➔エアーフィルターカバーをしっかりとはめてください。（38 ページ）
LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケーターが２つとも点灯している。	電気系統の故障です。 ➔お買い上げ店にご相談ください。
電動チルトアジャスターが収納されない。	電源を切らずに電源コードを抜いた。 ➔もう一度電源コードをコンセントに差して、電源を入れてから電源を切ってください。

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。(11ページ) ・接続手順が正しくない。 ➔本機はDDC2B(Display Data Channel 2B)に対応しています。お使いのコンピューターがDDCに対応している場合は、**1.** 本機とコンピューターを接続し、**2.** 本機の電源を入れ、**3.** コンピューターを起動してください。 ・入力切り換えが正しくない。 ➔INPUTキーで正しく選んでください。(14ページ) ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。 ➔ノートタイプや液晶一体型のコンピューターを接続したときには、キーや設定によって映像の出力先を切り換える必要があります。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。
画面にノイズが出る。	入力信号のドット数とLCDパネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 ➔お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。
INPUT A端子から入力している映像の色がおかしい。	初期設定メニューの「入力A信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力A信号種別」で「オート」、「コンピューター」、「ビデオGBR」、「コンポーネント」信号の設定を正しく合わせてください。(32ページ)
INPUT A端子から正しく信号を入力しているのに「入力A信号種別の設定を確認してください。」というメッセージが表示される。	初期設定メニューの「入力A信号種別」が入力信号と合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力A信号種別」で「オート」、「コンピューター」、「ビデオGBR」、「コンポーネント」信号の設定を正しく合わせてください。(32ページ)
画面表示が出ない。	初期設定メニューの「画面表示」が「切」に設定されている。 ➔「画面表示」の設定を「入」にしてください。(32ページ)

症状	原因と対処
色がおかしい。	・画質の調整をしていない。 ➔画質の調整をしてください。(24ページ) ・入力信号のカラー方式が合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。(33ページ)
画面が暗い。	・コントラスト、明るさの設定が正しくない。 ➔画質設定メニューの画質調整 ... で正しく設定してください。(24ページ) ・ランプが消耗している。 ➔ランプを交換してください。(36ページ)
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔フォーカスを合わせてください。(16ページ) ・結露が生じた。 ➔電源を入れたまま約2時間そのままにしておいてください。
画像がスクリーンからはみでている。	画像のまわりに黒い部分が残っている状態でAPAキーを押した。 ➔スクリーンいっぱいに画像を映してからAPAキーを押してください。 ➔信号設定メニューの入力信号調整 ... の「シフト」で正しく調整してください。(25ページ)
画面がちらつく。	信号設定メニューの入力信号調整 ... の「ドットフェーズ」の設定が合っていない。 ➔信号設定メニューの「ドットフェーズ」の数値を設定しなおしてください。(25ページ)

音声に関する項目

症状	原因と対処
音が出ない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。（11 ページ） ・正しいケーブルで接続されていない。 ➔付属の A/V 接続アダプターをお使いください。（13 ページ） ・音量が正しく調整されてない。 ➔画質設定メニューの「音量」（24 ページ）で正しく調整してください。

リモートコマンダーに関する項目

症状	原因と対処
リモートコマンダーが機能しない。	電池の交換時期がきた。 ➔新しい電池と交換してください。（8 ページ）

その他に関する項目

症状	原因と対処
本体のコントロールパネルキーが操作できない。	コントロールパネルキーがロックされている。 ➔キーロックを解除してください。（28 ページ）

インジケーターに関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVER インジケーターが点滅する。	・ランプカバーまたはエアーフィルターカバーがはずれている。 ➔カバーをしっかりはめてください。（36、38 ページ） ・電気系統の故障の可能性があります。 ➔お買い上げ店にご相談ください。
LAMP/COVER インジケーターが点灯する。	・ランプの交換時期がきた。 ➔ランプを交換してください。（36 ページ） ・ランプが高温になっている。 ➔45 秒以上たって、ランプが冷えてから、もう 1 度電源を入れてください。 ・ランプ交換後も点灯する場合は、電気系統の故障の可能性があります。 ➔お買い上げ店にご相談ください。
TEMP/FAN インジケーターが点滅する。	ファンが故障している。 ➔お買い上げ店にご相談ください。

症状	原因と対処
TEMP/FAN インジケーターが点灯する。	・内部が高温になっている。 →排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・海抜が高い場所で使用されている。 →高地モードが「入」に設定されているか確認してください。（31 ページ）
LAMP/COVER、TEMP/FAN インジケーターが２つとも点灯している。	電気系統の故障です。 →お買い上げ店にご相談ください。

メッセージ一覧

警告メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
高地で使用されている可能性があります。 高地モードに切り替えますか？ はい↑　いいえ↓	内部の温度が高くなった。 →海抜 1500m 以上でご使用の場合は、高地モードに設定する。（31 ページ） →海抜1500m 以下でご使用の際にこのメッセージが表示された場合は、排気口がふさがれていないか確認してください。
セット内部温度が高いです。 1 分後に LAMP オフします。	内部の温度が高くなった。 →電源を切ってください。 →排気口、吸気口をふさいでいないかどうか確認してください。
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	・対応範囲を越えた周波数の信号が入力された。 →対応範囲内の信号を入力してください。 ・接続するコンピューターの外部モニターの出力信号の設定が高い。 →出力信号の設定を XGA(VPL-CX20) または SVGA(VPL-CS20) にしてください。（11 ページ）
入力 A 信号種別の設定を確認してください。	初期設定メニューの「入力 A 信号種別」が「コンポーネント」に設定されているのに、コンピューターから RGB 信号を入力した。 →「入力 A 信号種別」を正しく設定してください。（32 ページ）

メッセージ	意味と対処
ランプを交換してください。	・ランプの交換時期がきた。 ➔ランプを交換してください。 ・ランプ交換後も表示される場合は、作業が完了されていない。 ➔37 ページの手順 8、9 を行ってください。
フィルターを掃除してください。	フィルターを掃除する時期がきた。 ➔フィルターを掃除してください。（38 ページ）

注意メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
無効キーが押されました。	操作が正しくない。 ➔正しいキーを押してください。
パネルキーロック中です！	機能設定メニューの「パネルキーロック」が「入」に設定されている。 ➔コントロールパネルのキーは全てロックされています。 リモートコマンダーで操作してください。（28 ページ）
オートフォーカスは切の設定です。 入に設定しますか？ はい↑　いいえ↓	機能設定メニューの「オートフォーカス」が「切」に設定されている。 ➔オートフォーカスを働かせる場合は、「入」に設定します。
レンズコントロールはロックされています！ ロックを解除しますか？ はい↑　いいえ↓	設置設定メニューの「レンズコントロール」が「切」に設定されている。 ➔リモートコマンダーの LENS（FOCUS、ZOOM）キー、本体の FOCUS、ZOOM キーを働かせる場合は「入」に設定します。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

仕様

光学系

投影方式　3LCDパネル、1レンズ、
　3原色光シャッター方式

LCDパネル　VPL-CX20：0.63インチXGA
　パネル、約236万画素
　（786,432 × 3）
VPL-CS20：0.63インチSVGA
　パネル、約144万画素
　（480,000 × 3）

レンズ　1.2倍ズームレンズ（電動）
f 18.8 ～ 22.6 mm
F1.6 ～ 1.94

ランプ　165 W UHP

投影画面サイズ
40インチ～ 300インチ
40インチ～ 150インチ（オートフォーカス動作範囲）

光出力　2000 lm[1]
（ランプモード 高のとき）

1) 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2003データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書2に基づいています。

投影距離（床置き）

スクリーンサイズ（インチ）	距離（m）
40	1.2 ～ 1.4
80	2.3 ～ 2.8
100	2.9 ～ 3.6
150	4.4 ～ 5.4
200	5.9 ～ 7.2
250	7.3 ～ 9.0
300	8.8 ～ 10.7

（設計値のため多少の誤差あり）

電気系

カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60 自動切り換え／手動切り換え
（NTSC4.43 とは、NTSC 方式で録画されたビデオカセットを、NTSC4.43 方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。）

解像度　VPL-CX20：水平解像度 750TV 本（ビデオ入力時）1,024 × 768 ドット（RGB 入力時）
VPL-CS20：水平解像度 600TV 本（ビデオ入力時）800 × 600 ドット（RGB 入力時）

対応コンピューター信号[1)]
fH: 19 ～ 92 kHz、fV: 48 ～ 92 Hz
（最高入力解像度信号：SXGA+ 1400 × 1050 fV: 60Hz）

1) 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。

対応ビデオ信号 15k RGB/ コンポーネント 50/60Hz, プログレッシブコンポーネント 50/60Hz DTV（480/60I, 575/50I, 480/60P, 575/50P, 720/60P, 720/50P, 1080/60I, 1080/50I）コンポジットビデオ , Y/C ビデオ

スピーカー　モノラルスピーカーシステム 40 × 20 mm

スピーカー出力
最大 1 W

入出力

INPUT A（入力 A）：HD D-sub 15 ピン
アナログ RGB/ コンポーネント：
R/R-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
同期付 G/Y：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
B/B-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
SYNC/HD：複合同期入力：TTL レベル、正負極性
水平同期入力：TTL レベル
正負極性 VD：垂直同期入力：TTL レベル、正負極性

AUDIO/VIDEO
VIDEO：
コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
S VIDEO：Y/C
Y（輝度）信号 :1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
C（クロマ）信号 :
バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB（NTSC）（75Ω 終端）
バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）（75Ω 終端）
AUDIO: 定格入力 500mVrms、入力インピーダンス 47kΩ

安全規格　電安法、VCCI クラス B

一般

外形寸法　273 × 52 × 210 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）

質量　約 1.9 kg

電源	AC100 ～ 240 V、2.2 ～ 1.0 A、50/60 Hz
消費電力	最大 220 W スタンバイ時： 0.8 W
発熱量	750.7 BTU
動作温度	0 ℃ ～ ＋ 35 ℃
動作湿度	35 ％ ～ 85 ％（結露しないこと）
保存温度	－ 20 ℃ ～ ＋ 60 ℃
保存湿度	10 ％ ～ 90 ％
付属品	リモートコマンダー（1） リチウム電池 CR2025（1） HD D-sub 15 ピンケーブル（2 m）（1）（1-791-992-XX） A/V 接続アダプター （1）（1-830-658-XX） キャリングケース（1） 電源コード（1） 取扱説明書（CD-ROM）（1） 簡易説明書（1） 安全のために（1） 保証書（1） セキュリティラベル（1）

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

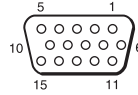
別売りアクセサリー

プロジェクターランプ LMP-C162（交換用）

シグナルケーブル

SMF-402（HD D-sub 15 ピン（凸）←→ 3 ×ピンジャック（凸））

ピン配列

INPUT A 端子（HD D-sub 15 ピン、凹）

1	映像入力（赤）R/R-Y	9	N.C
2	映像入力（緑）G/Y	10	接地
3	映像入力（青）B/B-Y	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	接地	13	水平同期信号 / 複合同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC/SCL
8	接地（青用）		

プリセット信号一覧

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ
1	ビデオ /60 Hz	60Hz	15.734	59.940	–	–
2	ビデオ /50 Hz	50Hz	15.625	50.000	–	–
3	480/60i	480/60i	15.734	59.940	S on G/Y	–
4	575/50i	575/50i	15.625	50.000	S on G/Y	–
5	480/60p	480/60p (倍速 NTSC)	31.470	60.000	S on G/Y	–
6	575/50p	575/50p (倍速 PAL)	31.250	50.000	S on G/Y	–
7	1080/60i	1035/60i, 1080/60i	33.750	60.000	S on G/Y	–
8	1080/50i	1080/50i	28.130	50.000	S on G/Y	–
10	720/60p	720/60p	45.000	60.000	S on G/Y	–
11	720/50p	720/50p	37.500	50.000	S on G/Y	–
21	640 × 350	VGA モード 1	31.469	70.086	H- 正 V- 負	800
22		VGA VESA 85Hz	37.861	85.080	H- 正 V- 負	832
23	640 × 400	PC9801 ノーマル	24.823	56.416	H- 負 V- 負	848
24		VGA モード 2	31.469	70.086	H- 負 V- 正	800
25		VGA VESA 85Hz	37.861	85.080	H- 負 V- 正	832
26	640 × 480	VGA モード 3	31.469	59.940	H- 負 V- 負	800
27		Macintosh 13"	35.000	66.667	H- 負 V- 負	864
28		VGA VESA 72Hz	37.861	72.809	H- 負 V- 負	832
29		VGA VESA 75Hz	37.500	75.000	H- 負 V- 負	840
30		VGA VESA 85Hz	43.269	85.008	H- 負 V- 負	832
31	800 × 600	SVGA VESA 56Hz	35.156	56.250	H- 正 V- 正	1024
32		SVGA VESA 60Hz	37.879	60.317	H- 正 V- 正	1056
33		SVGA VESA 72Hz	48.077	72.188	H- 正 V- 正	1040
34		SVGA VESA 75Hz	46.875	75.000	H- 正 V- 正	1056
35		SVGA VESA 85Hz	53.674	85.061	H- 正 V- 正	1048
36	832 × 624	Macintosh 16"	49.724	74.550	H- 負 V- 負	1152
37	1024 × 768	XGA VESA 60Hz	48.363	60.004	H- 負 V- 負	1344
38		XGA VESA 70Hz	56.476	69.955	H- 負 V- 負	1328
39		XGA VESA 75Hz	60.023	75.029	H- 正 V- 正	1312
40		XGA VESA 85Hz	68.677	84.997	H- 正 V- 正	1376
41	1152 × 864	SXGA VESA 70Hz	63.995	70.019	H- 正 V- 正	1472
42		SXGA VESA 75Hz	67.500	75.000	H- 正 V- 正	1600
43		SXGA VESA 85Hz	77.487	85.057	H- 正 V- 正	1568

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	サイズ
44	1152 × 900	Sunmicro LO	61.795	65.960	H- 負 V- 負	1504
45	1280 × 960	SXGA VESA 60Hz	60.000	60.000	H- 正 V- 正	1800
46		SXGA VESA 75Hz	75.000	75.000	H- 正 V- 正	1728
47	1280 × 1024	SXGA VESA 60Hz	63.974	60.013	H- 正 V- 正	1696
48		SXGA VESA 75Hz	79.976	75.025	H- 正 V- 正	1688
49*		SXGA VESA 85Hz	91.146	85.024	H- 正 V- 正	1476
50	1400 × 1050	SXGA+ 60Hz	63.981	60.020	H- 負 V- 負	1688

ご注意

・上記記載のプリセット信号以外の信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
・メモリーナンバー 49* は、スマート APA とリモコンの APA キーは働きません。信号設定メニューの入力信号調整 ... で調整してください。（25 ページ）
・SXGA+ 信号を入力した場合、画像がスクリーンからはみ出してしまうことがあります。その場合、画像のまわりに黒い部分が映っていない信号を入力し、接続しているケーブルの抜き差しをするか、INPUT キーを押して再度入力信号を選んでください。

その他

電源接続時のご注意

本機を国内でご使用の際は付属の電源コードを、国外でご使用の際は以下の表を参照してその国／地域の規格に適合する電源コードをご使用ください。

	アメリカ合衆国、カナダ	ヨーロッパ諸国、韓国	イギリス	オーストラリア	日本
プラグ型名	YP-11	YP-21	SP-61	B8	YP-13
コネクタ型名	YC-13L	YC-13L	YC-13L	C7-2	YC-13L
コード型名	SPT-2	H03VVH2-F	H03VVH2-F	H03VVH2-F	VCTFK
定格電圧・電流	10A/125V	2.5A/250V	2.5A/250V	2.5A/250V	7A/125V
安全規格	UL/CSA	VDE	BS	SAA	電安
コード長さ（最長）	4.5m	–	–	–	–

索引

わ

製品ご相談窓口のご案内

【プロジェクターの技術相談窓口】

テクニカルインフォメーションセンター

電話番号：0586-25-6170
（電話のおかけ間違いにご注意下さい）

受付時間：月～金曜日　午前９時～午後８時
土日、祝日　午前９時～午後５時

製品の品質には万全を期しておりますが、万一本機のご使用中に、正常に動作しないなどの不具合が生じた場合は、上記の『テクニカルインフォメーションセンター』までご連絡下さい。修理に関する御案内をさせていただきます。

http://www.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川6-7-35